

業を始むる前の祈禱

主イイススハリストス、爾が無原の父、
獨生の子よ、爾は至淨の口にて曰へり、
我なくんば能く爲すなしと。主よ、我が
主よ、我は信を以て爾の言を心に懐き、
爾の仁慈を拝みて禱る、我罪人が始むる
所の業を佑けて、之を遂げさせ給へ、父と
子と聖神の名に依りてなり。「アミン」
業を終る後の祈禱

萬福を賜ふ我がハリストスよ、爾に感謝
す、願くは、恒に我が靈に喜と樂とを
満てて、我を救ひ給へ、爾は獨大仁慈の
主なればなり。

受業前の祝文

智慧を賜ふ教師、明悟を與ふる主宰、智

識の開けざる者の教導者、能力の乏しき
者の守護者よ、我が心を誨えて、之を固
め給へ。父の言よ、我に言を與え給へ、
蓋我口を閉ぢずして爾に呼ぶ、仁慈なる
者よ、我罪人を憐み給へ。

或は

至善の主よ、爾が聖神の恩寵を遣し、我
等に靈の力を賜ひて、之を固め給へ。我
等が授けらるる教に心を用い、益生長し
て、爾我が造物主の光榮、吾が親の慰、
教會と生國の利益となるを得しめ給へ。

受業後の祝文

造物主よ、爾の恩寵を我等に賜ひて、學
業に心を用ひさせ給ひしを爾に感謝す。
我等の首長、父母、教師等、我等を導き

て善を知らしむる者に福を降し、及び我等に此の學業を繼ぐが爲に能力を與へ給へ。

食前の祝文

天に在ます我等の父よ云々

或は

主よ、衆人の目は爾を望む。爾は時に隨ひて彼等に糧を賜ふ、爾の豊なる手を開きて、諸の生る者を爾の恵に飽かしむ。

食後の祝文

ハリストス我が神よ、爾が地上の福を我等に飽かしめ給ひしを爾に感謝す。求む、爾の天國をも我等に得しめ給へ。

或は

讃揚せらるる神、我等を幼より憐み養ひ、凡そ生ける者に糧を賜ふ者よ、我等の心を喜と樂とに満て、我等が恒に諸の事に乏しからずして、我が主イエスの事に乏しからずして、諸の善事を行ふに足るものとならしめ給へ。蓋光榮權柄尊敬は、爾と爾の獨一子と聖神とに世世に歸す。「アミン」

或は

主よ、爾を讃揚す。聖なる者よ、爾を讃揚す。王よ、爾を讃揚す。我等に樂みて食するを賜へばなり。求む、聖神を我等に満て、爾が各人の行に應じて報ゆる時、我等を爾の前に喜ばれ、耻を受けざる者と顕し給へ。